

平成19年度上半期

自 平成19年4月1日

至 平成19年9月30日

水道事業業務状況書

江津市水道課

水道事業業務状況書

(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項の規定により、平成19年度上半期の業務の状況を次のとおり公表します。

1. 事業の概況

ア. 営業

当期の月平均給水戸数は、前年同期に比べ33戸減少し、特に松平簡易水道区域の減少割合が2%と高く、市全体では、9,875戸でした。

また、水の需要状況については、上水道区域では、営業用は増加しましたが、工場用は減少となり、また、簡易水道区域では、官公署用が減少し、前年同期に比べ総給水量は、僅かに減少し、総給水量は、1,077,976^m³でした。

業務量

事 項	平成19年度 年間予定 A	当期実績 B	予定対実績 B/A	前年同期 実績 C	前年同期実績比較		
					増減 B-C	増減率%	
平均給水戸数	戸	9,680	9,875	102.0%	9,908	△33	△0.3
年総給水量	m ³	2,153,040	1,077,976	50.1%	1,078,127	△151	△0.0
一日平均給水量	m ³	5,882	5,956	101.3%	5,957	△1	△0.0

イ. 建設改良

主な建設工事は、有収率向上のための和木町、都野津町の石綿管布設替工事（総延長1,877m）を118,125,000円で、また、下水道工事に伴う支障移転工事を5,271,000円で契約し着工しました。

業務委託では、上水道事業の変更認可申請書作成業務を7,875,000円で、また、松平簡易水道の拡張事業に伴う実施設計業務を14,899,500円で契約しました。

ウ. 財政状況

当期の収益は、営業収益は、簡易水道とあわせ前年同期に比べ0.4%、1,012千円減少し、また、営業外収益の他会計補助金の執行率が低いため、46.2%、18,629千円減少し、全体でも前年に比べ6.2%、19,641千円の減少となり、総額では、298,719千円で予算対比では、50.1%の執行率となりました。

次に、費用は、営業費用が簡易水道とあわせ、前年同期に比べ3.3%、7,867千円減少しましたが、営業外費用が8.1%、2,362千円増加し、費用総額では、2.0%、5,505千円減少し、265,367千円となり、予算対比では44.3%を執行しております。

以上により、当期の損益計算では、収益が、285,350千円、費用が、258,383千円で26,957千円の純利益となっておりますが、前年同期に比べると14,702千円減少しております。

2. 事業収益及び費用の状況

(1) 当期間中の事業収益の状況 (単位：千円)

区分	平成19年度			前年同期執行額	前年同期比較	
	9月補正後の予算額	当期執行額	予算対比 %		増減額	増減率 %
営業収益	463,259	233,108	50.3	233,821	△ 713	△ 0.3
うち給水収益	462,004	232,755	50.4	233,179	△ 424	△ 0.2
簡易水道営業収益	86,229	43,919	50.9	44,218	△ 299	△ 0.7
うち給水収益	85,672	43,858	51.2	44,157	△ 299	△ 0.7
営業外収益	46,416	21,692	46.7	40,321	△ 18,629	△ 46.2
特別利益	0	0	0.0	0	0	0.0
計	1,143,580	575,332	50.3	595,696	△ 20,364	△ 3.4

(2) 当期間中の事業費用の状況 (単位：千円)

区分	平成19年度			前年同期執行額	前年同期比較	
	9月補正後の予算額	当期執行額	予算対比 %		増減額	増減率 %
営業費用	407,985	181,245	44.4	187,429	△ 6,184	△ 3.3
うち受水費	238,590	101,054	42.4	101,150	△ 96	△ 0.1
簡易水道営業費用	125,085	52,527	42.0	54,210	△ 1,683	△ 3.1
うち受水費	75,873	31,982	42.2	33,012	△ 1,030	△ 3.1
営業外費用	47,788	24,025	50.3	21,662	2,363	10.9
簡易水道営業外費用	14,889	7,570	50.8	7,571	△ 1	△ 0.0
特別損失	600	0	0.0	0	0	0.0
予備費	3,000	0	0.0	0	0	0.0
計	913,810	398,403	43.6	405,034	△ 6,631	△ 1.6

(3) 当期間中の資本的収入の状況 (単位：千円)

区分	平成19年度			前年同期執行額	前年同期比較	
	9月補正後の予算額	当期執行額	予算対比 %		増減額	増減率 %
負担金	23,258	0	0.0	11,080	△ 11,080	△ 100.0
国庫補助金	51,400	0	0.0	0	0	0.0
他会計補助金	45,332	4,653	10.3	4,639	14	0.3
企業債	184,700	0	0.0	0	0	0.0
他会計借入金	64,424	49,724	77.2	43,315	6,409	14.8
出資金	14,000	0	0.0	0	0	0.0
計	383,114	54,377	14.2	59,034	△ 4,657	△ 7.9

(4) 当期間中の資本的支出の状況 (単位：千円)

区分	平成19年度			前年同期執行額	前年同期比較	
	9月補正後の予算額	当期執行額	予算対比 %		増減額	増減率 %
建設改良費	325,279	14,370	4.4	11,523	2,847	24.7
企業債償還金	87,600	43,499	49.7	40,834	2,665	6.5
他会計借入金償還金	57,115	57,115	100.0	49,326	7,789	15.8
計	469,994	114,984	24.5	101,683	13,301	13.1

3. 残高試算表の概要

(貸借)

(単位：千円)

勘定科目	当期増減	当期末残高	前年同期比較	前年同期比較	
				増減額	増減率 %
固定資産	△ 14,897	5,245,142	△ 16,470	1,573	△ 9.6
流動資産	△ 140,045	470,830	△ 181,457	41,412	△ 22.8
固定負債	0	12,773	0	0	0.0
流動負債	△ 153,271	14,178	△ 217,860	64,589	△ 29.6
資本金	△ 50,890	2,915,343	△ 46,844	△ 4,046	8.6
剰余金	22,263	2,746,722	25,118	△ 2,855	△ 11.4

(損益)

(単位：千円)

勘定科目	当期残高	前年同期残高	前年同期比較	
			増減額	増減率 %
営業収益	222,025	222,708	△ 683	△ 0.3
簡易水道営業収益	41,831	42,115	△ 284	△ 0.7
営業外収益	21,484	40,068	△ 18,584	△ 46.4
特別利益	0	65	△ 65	皆減
収益小計	285,340	304,956	△ 19,616	△ 6.4
営業費用	175,940	181,593	△ 5,653	△ 3.1
簡易水道営業費用	50,857	52,473	△ 1,616	△ 3.1
営業外費用	24,016	21,660	2,356	10.9
簡易水道営業外費用	7,570	7,571	△ 1	△ 0.0
費用小計	258,383	263,297	△ 4,914	△ 1.9
当期純利益 (△純損失)	26,957	41,659	△ 14,702	△ 35.3

4. 企業債及び一時借入金等の状況

(単位：千円)

区分	前期末残高	当期借入金	当期償還金	当期末現在高
企業債	2,332,961	0	43,499	2,289,462
一般会計長期借入金	57,115	49,724	57,115	49,724
一時借入金	0	0	0	0

平成18年度決算の状況

当市の水道事業は、島根県営水道からの受水に依存しており、事業費用のうち受水費の占める割合が50%以上をこえる構造的要因から赤字で推移していましたが、平成15年度から江の川水道料金平準化措置を講じていただき、当面の受水費用の負担の軽減を図ることができました。

有収率の向上対策として、江津、渡津、敬川地区の石綿管の布設替工事や都治、後地、波積、浅利地区の老朽管布設替工事を実施し、有収率は86.01%となりました。

平成15年度から継続費により事業を開始した「上水道第3期拡張事業」は、総工費10億5千98万8千円（国庫補助金3億2千53万3千円、企業債7億3千20万円、損益勘定留保資金25万5千円）をかけて本年度をもって完了いたしました。

財政状況については、事業収益は、営業収益のうち給水収益が前年度比997万8千293円減少しましたが、営業外収益の簡易水道高料金対策補助金の増加により、収入総額が2,193万2千335円の増収で総額5億9,749万7千257円となりました。

事業費用は、人件費が302万4千741円減少しましたが、減価償却費が1,356万814円の増のほか修繕費、企業債利息の増加により、3,907万1千214円増加し、費用総額は、5億9,220万5千126円で529万2千131円の純利益となりました。

以上のように営業収益の柱である給水収益は、人口の減少、景気回復の遅れや節水型機器の普及により今後も減少が予想される中、厳しい経営環境が続くものと推測されますので、さらに経営の効率化や有収率の向上を図るとともに安定給水及び市民福祉の向上のため経営の健全化に努めます。

業 務 量

事 項	平成18年度	平成17年度	前 年 比 較			
			増減	増減率%		
年度末給水戸数	戸	9,789	9,779	10	0.1	
年度末給水人口	人	22,395	22,486	△ 91	△ 0.4	
計画給水人口	人	24,900	25,280	△ 380	△ 1.5	
普及率	%	91.30	90.58	0.72	0.8	
配水量	年間	m ³	2,517,089	2,552,271	△ 35,182	△ 1.4
	一日平均	m ³	6,896	6,993	△ 97	△ 1.4
受水量	年間	m ³	2,476,940	2,451,370	25,570	1.0
	一日平均	m ³	6,786	6,716	70	1.0
給水量	年間	m ³	2,164,945	2,198,393	△ 33,448	△ 1.5
	一日平均	m ³	5,931	6,023	△ 92	△ 1.5
一日最大配水量	m ³	8,591	8,491	100	1.2	
有収率	%	86.01	86.13	△ 0.12	△ 0.1	

1. 損益計算書

収 益

(単位：円)

区 分	平成18年度	平成17年度	比 較	
			増 減	増減率%
営 業 収 益	454,120,849	454,650,353	△ 529,504	△ 0.12
簡易水道営業収益	81,459,846	84,883,724	△ 3,423,878	△ 4.03
営 業 外 収 益	61,851,693	36,030,793	25,820,900	71.66
特 別 利 益	64,869	52	64,817	124,648.08
計	597,497,257	575,564,922	21,932,335	3.81

費 用

(単位：円)

区 分	平成18年度	平成17年度	比 較	
			増 減	増減率%
営 業 費 用	414,555,162	371,411,369	43,143,793	11.62
簡易水道営業費用	116,848,288	128,843,263	△ 11,994,975	△ 9.31
営 業 外 費 用	45,669,007	36,004,801	9,664,206	26.84
簡易水道営業外費用	15,132,669	15,399,893	△ 267,224	△ 1.74
特 別 損 失	0	1,474,586	△ 1,474,586	△ 100.00
計	592,205,126	553,133,912	39,071,214	7.06

2. 資本的收入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	平成18年度	平成17年度	比 較	
			増 減	増減率%
負 担 金	46,324,584	30,217,246	16,107,338	53.31
国 庫 補 助 金	68,400,000	122,200,000	△ 53,800,000	△ 44.03
他 会 計 補 助 金	25,386,245	15,429,823	9,956,422	64.53
企 業 債	207,800,000	333,500,000	△ 125,700,000	△ 37.69
他 会 計 借 入 金	57,115,000	49,326,000	7,789,000	15.79
出 資 金	6,000,000	5,100,000	900,000	17.65
計	411,025,829	555,773,069	△ 144,747,240	△ 26.04

支 出

(単位：円)

区 分	平成18年度	平成17年度	比 較	
			増 減	増減率%
建 設 改 良 費	358,273,684	518,447,682	△ 160,173,998	△ 30.89
企 業 債 償 還 金	81,695,479	76,744,542	4,950,937	6.45
他 会 計 借 入 金 償 還 金	49,326,000	39,937,000	9,389,000	23.51
計	489,295,163	635,129,224	△ 145,834,061	△ 22.96